

アジアコスモポリタン賞受賞記念 奈良フォーラム 2014

2014年12月21日～22日に、アジアコスモポリタン賞の授賞を記念する「アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム2014」が開催された。本賞は、東アジア域内における文化面、経済面での地域統合、域内格差是正、持続可能な成長社会形成などの点で優れた貢献が認められた個人・団体に対し、東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）が贈呈する国際賞であり、今回のフォーラムは、第2回授賞を記念して開催され、4名1団体が受賞した。

大賞：マンモハン・シン（前インド共和国首相）

経済・社会科学賞：ピーター・デーヴィッド・ドライスデール（オーストラリア国立大学名誉教授）

：ワン・グンウ（シンガポール国立大学上級教授）

文化賞：宝塚歌劇団

：リティー・パン（映画監督）

【12月21日】

■開式

オープニングアトラクションとして、天理大学雅楽部による雅楽「越天楽」が厳かに演奏され、会場内に響き渡った。

続いて、ERIA事務総長の西村英俊氏より開会の挨拶を述べられた。東アジア地域で人と人の繋がりに大きな役割を果たし、諸国の発展に貢献した人物・団体を讃える本賞の趣旨が語られた。また、東アジア全域の発展に貢献する中核機関として設立されたERIAの理念についても紹介がなされた。

続いて、公益社団法人関西経済連合会会長の森詳介氏が祝辞を述べ、前ASEAN事務総長のスリン・ピッサワン氏、学校法人根津育英会武蔵学園学園長の有馬朗人氏からアジアの平和と発展に向けたメッセージが語られた。

■授賞式

第2回受賞者の4名1団体は、東アジアの16カ国を代表する経済・政策研究機関からなる推薦委員によって候補者として推薦された人物・団体であり、選考委員による選考を経て授賞が決定された。壇上では、各受賞者への正賞として吉野杉材を使用した盾と「コスモポリタン」をイメージした透明感のあるトロフィーが贈られ、副賞として奈良県の伝統工芸品である赤膚焼の燈火器が贈呈された。

経済・社会科学賞を受賞したピーター・デーヴィッド・ドライスデール氏は「アジアでコスモポリタンな社会を構築するという夢を持ち続け、今後もアジアのコミュニティづくりを進めていきたい」、同じく経済・社会科学賞を受賞したワン・グンウ氏は「この賞によって、さらにアジアでコスモポリタニズムが推進されるだろう」と述べた。また、文化賞を受賞した宝塚歌劇団理事長の小林公一氏は「アジアの一員としての誇りを持ってこれからも頑張っていきたい」、同じく文化賞を受賞したリティー・パン氏は「最も立場が弱い人々の権利を維持し、平和な地域、平和な文化を構築しなければならぬ」と語った。

■受賞記念フォーラム

主催者である奈良県を代表し、荒井正吾知事より祝辞が述べられ、「グローバルな視点による交流を通じ、異なる考え、優れた考えを聞くことができる優位性が奈良にあることをうれしく思う」との思いが伝えられた。続いて、衆議院議員の二階俊博氏が「アジアの世紀」と題して基調講演を行い、「日本は、ASEAN各国と協力し、安全・安心の提供、公平な発展戦略、持続的発展の確保のために知見を提供する努力を怠ってはならない」と強調した。

大賞を受賞したマンモハン・シン氏のビデオメッセージが紹介され、シン氏は「東アジアは数年以内にその可能性をフルに発揮し、真に包括的でコスモポリタン社会に成長すると信じています」と期待を寄せた。

■受賞記念プログラム

まず、経済・社会科学賞を受賞したピーター・デーヴィッド・ドライスデール氏とワン・グンウ氏が「アジアの世紀到来か？経済と歴史からの視点」と題して対談し、アジアにおける共同体形成の課題などについて語った。

文化賞を受賞した宝塚歌劇団理事長の小林公一氏はアジアへの積極的な発信を図る考えを示し、花組トップスターの明日海りお氏がビデオメッセージを寄せた。同じく文化賞のリティー・パン氏は、作品に込めた思いや映画製作の方法論について語った。

【12月22日】

■教育プログラム（受賞者による特別講義）

大学生を対象とした受賞者による「特別講義」が県内二つの大学で行われ、経済・社会科学賞のワン・グンウ氏が天理大学で、「東南アジアと国際関係」をテーマに講義を行った。また、文化賞のリティー・パン氏は奈良女子大学で、「Making a Memory 記憶をのこすということ」と題して講義し、それぞれ集まった学生がアジアに対する見識を広げた。